



充実した健康長寿社会を築く
総合医療開発リーダー育成プログラム

京都大学

多様性の拡大、変化の加速

ますます難しくなる将来予測

「高齢社会の世界的拡大」は揺ぎ難い因子

人類未曾有の超高齢社会に直面

世界有数の健康長寿国としての日本

率先して有益な“日本モデル”を提示する責務

LIMS プログラムでは医工学に基づき

メディカル・イノベーションを通じて

健康長寿社会の構築を先導する人材を育成

世界的に人口の高齢化が広がる中、世界最長の健康寿命と先端的研究開発能力という条件を合わせ持つ日本では、高齢社会の問題を俯瞰し、メディカルイノベーションを通じて充実した健康長寿社会を達成する人材を育成し、世界に輩出することが急務となっています。

京都大学・充実した健康長寿社会を築く総合医療開発リーダー育成プログラム(LIMS: Leaders for Integrated Medical System)は、

I. 真に医学・医療を理解し、他分野の知識・技術を医療・支援システムへ適用し、
II. 医学の中に蓄えられた知識・技術を他の諸分野に活用する
という2方向から、具体的な解決法を創案し、充実した健康長寿社会の構築を推進できる「総合医療開発リーダー」の育成をめざしています。

高齢者が出来るだけ自立して社会参加するために、住環境・移動通信・医療介護などにわたる社会システムを構築することが重要です。このような社会では、医療・福祉・在宅ケアの統合した「総合医療」が求められます。

個人の生活全体を考慮し、生活の質(QOL)を重視して支援サービスを開発するため、利用者にとって負担の少ない「高齢者に優しい」機器・システムを開発するセンスが必要です。このためLIMSでは、高齢者の価値観・生活様式や加齢医学、医療倫理、広範な社会情勢を理解する能力を涵養しています。

病気になる以前に、良い生活習慣によって疾病・障害を予防することが、ますます重要視されています。医工学の背景に基づいて、関連アイデアや情報を、柔軟に創案・流通・推進する能力を備えた人材が求められます。

高齢社会の問題は、現時点の高齢者のみに着目したのでは解決が難しく、LIMSでは、世代を超えた相互作用や互助に注目しています。地域社会の中で、子育て支援・教育から高齢者福祉、防災・観光などを統合した体制について、プログラムの学修・研修を通じて検討しています。

充実した健康長寿社会の日本モデルを、世界の多様な地域に普及し、有効な活用を推進する人材の育成を目指しています。このため、医療経済学・国際標準化等に関する理解と、英語による討論・交渉・説得能力の向上に努めています。

総合医療と新たな医療産業



医工学の基盤に基づく人材育成

- 人体を知る： 理・工・薬・看護・検査学系等の出身者が、医学部卒業生に匹敵する基礎医学と生体知識を習得
- ・人体解剖学： 医学部学生と同じ環境で実習
 - ・生理学： 多様な組織・臓器や全身での、機能の連関に着目する視点を獲得
 - ・医学・医療の膨大な内容を、LIMS 履修者向けに抽出・再編成した、効率的な講義・実習
- 現場を知る： 京都大学医学部附属病院・高齢者施設、公的機関、国際機関などでの研修を通じ、医療・介護支援などの現場のニーズを理解
- 専門性の深化： 京都大学が培った専門性の高い医工学の知識・技術を体得
社会ニーズに基づいて研究開発を進める能力を獲得
- 社会規範の理解： 医療政策、医療経済、医療倫理、知的財産&国際標準化など、
社会における医療ルールを学修
- 実践的学修： 企業・国内外研究機関・公的機関での研修とインターンシップ
地域社会で、産学公民の連携した社会実証実験の環境整備と実施

産学官公連携による医療現場に立脚した医工学研究教育

社会需要に基づいた、技術創出・探索・統合
社会実証研究・社会実装の中での技術の成熟
社会コストや医療経済学的根拠を考慮した研究開発
社会実証研究を通じた評価基準・規制のあり方・倫理の整備
許認可・社会実装・普及の迅速化
企業の世界展開の中での、諸外国に発信できる日本モデルの創出

講師派遣

インターンシップ

京都大学内の推進体制

参加部局等：
医学研究科
工学研究科
薬学研究科
数理解析研究所
経済学研究科
再生医科学研究所
先端医工学研究ユニット
統合複雑系科学国際研究ユニット
等

部局を超えた運営：
学際融合教育研究推進センター
LIMS ユニット

協力企業・公的組織

医療機器産業
自動車産業
住宅産業
等

京都市
京都高度技術研究所 (ASTEM)
京都府
けいはんな学研都市
神戸市産業振興財団
等

履修者の選抜と支援

アドミッションポリシー

本プログラムは、博士課程教育リーディングプログラムとして一貫した大学院教育を行います。

京都大学の、医学研究科（医科学専攻・人間健康科学系専攻）・工学研究科・薬学研究科の修士課程、または医学研究科（医学専攻）博士課程の入学試験に合格した学生の中から、年度毎に 20 人を上限として優秀な履修者を選抜します。ただし、出身学部・大学、国籍、卒後年数を問わず、上記条件を満たせば受け入れます。プログラム開始後これに専念する場合、社会人の応募も可能です。

選抜された履修者は、4 月から所属研究科での専門的学修・研究と同時に、LIMS プログラムの履修を開始します。

学位

要件を満たした大学院生には、所属研究科の厳正な審査の後、博士（医科学・人間健康科学・医学・工学・薬科学のいずれか）の学位を授与し、全学の博士課程教育リーディングプログラム運営会議の審査を経て『リーディング大学院「充実した健康長寿社会を築く総合医療開発リーダー育成プログラム」修了を証す』旨付記します。

履修者への支援体制

- ▶ 教員：プログラム担当者（教授 70 名）、プログラム特定教員（21 名）が、講義・実習・研修にあたります。
- ▶ 個別支援体制：各履修者について、所属研究科・研究室の指導教授、これと専門分野の異なるLIMS指導教授、LIMS特定教員からなるメンター 2 名の計 4 名がチームを組んで、綿密な討論の場を設け、履修者の自発的な学習・研究の向上を支援します。
- ▶ インターンシップ：各履修者の興味や知識・技術、企業・公的機関講師による講義（医療工学特別講義 I & II、知的財産&国際標準化、等）での参加状況、受け入れ側の興味と提供可能な課題、等を考慮し、オーダーメイドで企画・準備しています。
- ▶ 実施場所：医学部構内に専用スペースを設け、多分野の履修者・教員が一堂に会する事が可能です。
- ▶ 経済的支援：履修者各人の申請に応じて、学会参加旅費・研究費を支給し、適切な運営を行う能力を養っています。履修者が学修・研究に専念できるよう、年度ごとの評価に基づき奨励金を支給しています。

本プログラムへのお問い合わせ

京都大学 学際融合教育研究センター
健康長寿社会の総合医療開発ユニット事務室
(LIMS 事務室)

606-8501 京都市左京区吉田近衛町
E-mail: info@lims.kyoto-u.ac.jp
電話： 075-753-9334

